

令和元年度 放課後等デイサービス「戸次なごみ園」 保護者の評価集計

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	特記事項(ご意見など)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	97%	3%			基準に則したスペースを確保している。クールダウンの部屋も準備している。個々の特性に応じて対応している。
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	95%	5%		子どもが利用している時、見に行ったことがないのでわかりません。	基準に則した人員配置を行っているが、活動内容によっては、個別対応したり応援職員を依頼したりしている。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか	95%	5%			全て段差のないバリアフリーで、トイレは車いす対応の幅を確保している。また、各所に手すりも設置している。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、放課後等デイサービス計画*1が作成されていますか	100%				保護者との面談を通して、個別支援会議にて計画の内容を吟味し、検討して対応するようにしている。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されていますか	100%				マンネリにならないように昨年の取り組みの振り返りと利用児の個性・実態に即して内容を進化していくようにしている。また、利用児の意見も取り上げるようにしている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、活動する機会がありますか	31%	61%	8%		児童クラブ等との交流は、実現できていないが、地域の行事に参加することをしている。
保護者へ	7	支援の内容、利用者負担等について、契約時に丁寧な説明がなされましたか	97%	3%			利用契約時に、書面にて説明し、同意を得るように努めている。また、見学者に対しても丁寧な対応をしている。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と送迎時、伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解がされていますか	97%	3%			送迎時や電話連絡等で必ず確認するようしている。また、送迎時のトラブルについても適宜報告・連絡を管理者にするようになっている。また、保育所等訪問支援を通して、情報共有を行っている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	92%	8%			児童発達管理責任者や主任保育士を中心に、保護者の相談に応じ、保護者の不安を軽減できるように取り組んでいる。
	10	今後、保護者会等の開催等を考えていますが、保護者同士の連携等を希望されますか	20%	67%	13%		毎年、保護者会を開催し、保護者同士の交流が図れるようにしている。

の 説 明 責 任 等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	89%	11%			児童発達管理責任者や主任保育士を中心に、保護者の相談に応じ、保護者の不安を軽減できるように取り組んでいる。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	95%	5%			利用児の特性や必要に応じて、絵カードやスケジュール表、ホワイトボード等を活用している。
	13	定期的に応報誌やホームページ等で、活動概要や行事予定の情報や業務に関する自己評価の結果を発信していますか	89%	11%			毎月、園便りを発行し、なごみ園での過ごし方や活動内容の様子を伝えるようにしている。またホームページに自己評価表の結果を掲載している。
	14	個人情報に十分注意されていますか	97%	3%			個人情報の取り扱いについては、利用契約時に同意書を交わし、その都度保護者に確認しながら取り組むようにしている。また、書類は施錠付きの棚に置いている。
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	47%	50%	3%		各マニュアルについては、保護者会で周知したり、利用開始時に説明したりしている。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	42%	55%	3%	いつ行っているのか分からない。	避難訓練を定期的に行っている。利用児の特性に応じて、実際に避難しなくても紙芝居等で意識付けている。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしていますか	97%	3%		毎回楽しみにしています。	日頃家庭でできない経験や利用児の能力や個性に応じて支援内容を工夫している。
	18	事業所の支援に満足していますか	100%			・長期休みも1日してほしいです。 ・利用日数が増えるとうれしい。 ・送っていただいた時、その日の子の様子をていねいに伝えて下さりありがたいです。	今後も、利用児が生き生きと生活し、自己肯定感が高められるように支援していきたいと考えている。長期休みの対応については、事業形態との関係のため、今後の課題である。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。